

質問事項	質問の要旨
<p>1 廃炉後を見据えた政策を</p>	<p>(1) 11月11日、町長は女川原発の再稼働に同意し</p>
	<p>ました。</p>
	<p>同意に至った経緯、知事のどのような発言、</p>
	<p>態度が決め手になったのか、その報告を。</p>
	<p>(2) 9月に採択された4団体からの陳情は町の経</p>
	<p>済活性化のために再稼働を、という主旨でし</p>
	<p>た。</p>
	<p>町長に伺いますが、逆説として言えば、再稼</p>
	<p>働しなければ、原発がなければ、女川の活性化</p>
	<p>はないということですか。</p>
	<p>誰もが知っていると思いますが、原発は必ず</p>
	<p>廃炉を迎えます。廃炉作業による経済効果も新</p>
	<p>聞に載っていましたが、更にその先、廃炉作業</p>
<p>もなくなった女川の姿を思い描き、今からその</p>	
<p>礎を築こうとは思いませんか。俯瞰的な眺望、</p>	
<p>深謀遠慮の政策を展開されるよう望みますがい</p>	
<p>かがお考えですか。</p>	
<p>また、そのためには、いま何に取り組むべき</p>	
<p>とお考えですか。</p>	
<p>(質問の相手：町長)</p>	

質問事項	質問の要旨
<p>2 ヤングケアラー、 女川の実態は</p>	<p>通学や仕事をしながら介護する「ヤングケアラー」。</p> <p>ケアマネージャー対象の全国調査によると、16.5%が大人並みに介護を担う子どものいる家庭を担当した経験があると報告されています。</p> <p>2012年総務省によると、介護している15～29歳の若者は推計値で17万7,600人。2016年、大阪在住の高校生では5,200人対象中、20人に1人が介護を担当。今年11月25日の埼玉県の調査報告によると、高校2年生全員、5万5,772人調査、回答4万8,261人中1,969人(4.1%)が「ヤングケアラー」と発表されています。</p> <p>政府でも、10月、全国の教育現場に対して実態調査を行う方針を固めました。しかし、この調査方法について方針が定まらず、今年度末までにまとめる予定とのこと。</p> <p>以前、ヤングケアラーの存在について伺ったところ女川にはいないとのことでしたが、今後どのように実態を把握していきますか。また、存在が認められた場合の対策をどのように講ずるのか伺います。</p> <p>(質問の相手：教育長・担当課長)</p>